２　新設（法５条１項）の届出

ア　届出にあたって

・ 店舗を新設する場合は、開発許可、建築確認、道路管理者との協議、路外駐車場の届出など立地法以外の手続きが必要な場合があります。届出にあたっては指針の趣旨と内容を十分踏まえ、これらの手続きと併行しながら、計画を進めてください。
・ 特に、駐車場や設備等の配置などは設計段階から対策を講じることが重要ですので、できるだけ早期から検討するようにしてください。
・ また、立地や周囲の環境により、配慮や対策の事項も違いますので、届出にはそれらを踏まえ、なるべく詳細に記載するようにしてください。

イ　各項目について（詳細は記載例参照）

（店舗・小売店について）

・ 店舗名称が決まっていない場合は、計画名称、または設置後予定している名称（(仮称）も可）を記載してください。
・ 建物の住居番号がまだ付定されていない場合は、計画地の土地登記簿上の地番を記載してください。
・ 届出時点では小売業者が未定の場合は、計画している販売物品の種類を記載してください（荷さばき計画等の基礎となります)。

(駐車場の設定等について)

・ 駐車場の台数は、建物の設計への影響が想定されますので、お早めに相談してください。
なお、新設の場合、基本的には指針値が適用となります。参考として、駐車場条例に基づく地域ルールなどが適用となっている場合などは、その旨記載してください。
・ 駐車場については敷地内が基本ですが、交通規制等に関連し隔地駐車場を確保する場合は、300メートルの範囲内を目安に設定してください。

(交通経路について)

・ 交通経路については、警視庁の協議を踏まえ、記載してください。その際、住宅地、通学路、渋滞が予想される場所など、配慮した事項や理由があれば併せて記載してください。

(交通の対策について)

・ 交通安全対策、交通渋滞対策は、十分に盛り込んでください。
・ 開店時、繁忙期の対策などを、可能な限り記載してください。
・ セットバックなど道路整備も併せて行われる場合は、その旨記載してください。

(騒音の対策について)

・ 予測地点は適切に設定してください。また予測地点の選定理由も明確にしてください。
・ 騒音の予測結果が環境基準あるいは規制基準を超過した場合、騒音対策を記載してください。

（参考）騒音対策の方法・考え方

騒音の予測結果が基準値を超えた場合は、店舗の周辺環境への影響の多寡に関わらず、その事実を踏まえた対策と真摯な対応が求められます。

屋外にある騒音源から放射された騒音、屋内にある騒音源の壁などを透過して屋外に出た騒音などに対しては、遮音壁を設置する、車両走行時のタイヤノイズを下げるための舗装にするなどのハード対策は効果的な対策となります。

しかし、そうした対策には限界があり、対策を講じることで、騒音レベルを下げる一定の効果が得られますが、それでも、基準値を超過している場合は、騒音被害を生じる要因を考慮した運

用面での対策を講じる必要があります。
　例えば、①駐車場の利用を制限する、②荷さばき作業時に、不必要な音を出さないように作業員への指導を徹底する、③静かなドア開閉やアイドリングストップなどの励行、④暴露する音の音量を極力下げる、⑤問題となりやすい時間帯になるべく機器の運転を控える、⑥定期的に機器のメンテナンスを行う、⑦大きな音が出そうな時間帯についてあらかじめ周辺住民に十分に周知する、⑧日ごろから周辺地域との良好なコミュニケーションを構築する、⑨区市町村、自治会、マンションの管理組合などから適切なアドバイスを受けられるようにするなどの活動を促進していくことも有効な対策となります。

・ 施設の計画にあたり、環境アセスメントなどの際に配慮した事項があれば、必要に応じ記載してください。

(その他)

・ 再開発や建替えなど経緯がある場合は、適宜、立地環境などに計画概要等を記載してください。
・ 区市境や都県境などの場合は、図面に明確に示してください。
・ 店舗の名称、住居表示、未定であった小売業者は確定後速やかに６条１項の届出をお願いします。

＜記載例　新設【法５条１項】＞

様式第１（第４条関係）

※　受理年月日	
※　受理番号	
※　備　　考	

※　この欄には記載しないでください。
　　届出の際、都で使用します。

大規模小売店舗新設届出書

○○年○○月○○日

東京都知事　殿

（設置者）
名　　称　○○株式会社（かぶしきがいしゃ）
代表者名　代表取締役（だいひょうとりしまりやく）　○○　○○
所在地　東京都（とうきょうと）○○区（く）○○一丁目（いっちょうめ）○番（ばん）○号（ごう）

※　個人の場合は氏名、法人の場合は名称並びに代表者の役職及び氏名を記載してください。
※　法人の代表者の役職名は登記簿記載のとおり記載してください。
※　設置者の項目全てにふりがなを記載してください。
※　設置者が複数いる場合、連名での届出となりますので全員を記載してください。多数の場合は「設置者一覧」を添付し、「別紙（設置者一覧）のとおり」と記載してください。

（届出担当者）
所属部署　○○部○○課
担当者名　○○　○○
電話番号
ﾌｧｸｼﾐﾘ番号

大規模小売店舗を新設するので、大規模小売店舗立地法第５条第１項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

１　大規模小売店舗の名称及び所在地

・　名　　称　○○マーケット○○店（てん）
・　所在地　東京都（とうきょうと）○○区（く）○○一丁目（いっちょうめ）○番（ばん）○号（ごう）

※　所在地には、建物の住居番号が付定されている場合は、住居表示を記載してください。
※　それ以外の場合は、計画地の土地登記簿上の地番を記載してください。
※　土地が分筆登記されている場合、店舗部分の最も大きい部分を占める地番を記載し、地番の後に「ほか」と記載してください。
※　丁目表記は漢数字で記載してください。
※　全てにふりがなを記載してください。

2　大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

※　すべての小売業者名を記載してください。
※　小売業者が複数ある場合は、「様式第１　別紙（小売業者一覧）」に全てを記載し、本欄には、「別紙（小売業者一覧）のとおり」と記載してください。
※　届出の段階で未定の分については、決定後速やかに変更届出書を提出してください。

(1)　小売業を行う者の氏名又は名称　　株式会社○○
(2)　住所又は所在地　　東京都○○区○○○丁目○番○号
(3)　法人にあっては代表者の氏名　　代表取締役　○○　○○
(4)　当該小売業者の店舗面積　　○，○○○㎡

3　大規模小売店舗の新設をする日

○○年○○月○○日

※　届出日から８か月後の同一の日の翌日以降の日付を記載してください。
※　当該店舗の開店予定の日を記載してください（小売業者ごとに開店の日が異なる場合は、それらのうち一番早い予定日を記載）。

4　大規模小売店舗内の店舗面積の合計

○，○○○㎡

※　小売業を行うための店舗の用に供される床面積の合計を記載してください。
※　小数点以下第１位を四捨五入してください。

5　大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

※　各施設のNo.は、配置図上に記載の番号を記載してください。
※　位置、種類は、記載例を参考に記載してください。
※　届出以外の併設施設や施設全体については、特記事項として記載してください。

(1)　駐車場の位置及び収容台数

No.	位　　置	収容台数	駐車場の種類
No.○	○○○○（図No.○）	○○○台	○○駐車場
No.○	○○○○（図No.○）	○○○台	○○駐車場
合　　計		○○○台	

【記載例】
・位置　→　敷地内北側、店舗屋上、隔地など
・駐車場の種類　→　平面駐車場、立体駐車場（自走式、機械式）、公共駐車場など

特記事項

【記載例】
　届出○台のほかに、併設施設（シネマコンプレックス、飲食店）○台、業務用○台、施設全体で○台の駐車場を設置します。

(2) 駐輪場の位置及び収容台数

No.	位　　置	収容台数
No.○	○○○○（図No.○）	○○○台
No.○	○○○○（図No.○）	○○○台
合　　計		○○○台

【記載例】
・位置　→　敷地内南側、店舗地下１階、隔地など

特記事項

【記載例】
自動二輪車の駐車場を別途○台分設置します。

【記載例】
駐輪場は併設施設分と共用します。届出○台のほかに、従業員用○台、施設全体で○台の駐輪場を設置します。

(3) 荷さばき施設の位置及び面積

No.	位　　置	面積
No.○	○○○（図No.○）	○○．○○㎡
No.○	○○○（図No.○）	○○．○○㎡
		○○．○○㎡
合　　計		○○㎡

※　合計値は、小数点以下第１位を四捨五入してください。

特記事項

【記載例】
届出○㎡のほかに、併設施設○㎡、業務用○㎡、施設全体で○㎡の荷さばき施設を設置します。

(4) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

No.	位　　置	容量
No.○	○○（図No.○）	○○．○○○○㎥
No.○	○○（図No.○）	○○．○○○○㎥
		○○．○○○○㎥
合　　計		○○．○○㎥

容量算定根拠：　図No.○　廃棄物等保管施設詳細図のとおり

※　廃棄物等保管施設の容器等の詳細図と、容器に基づき算定した保管容量の算出式を図面等に記載してください。
※　各保管施設の容量は、小数点以下第５位を四捨五入し、小数点以下第４位まで記載してください
※　合計値は、小数点以下第３位を四捨五入し、小数点以下第２位まで記載してください。

特記事項

【記載例】
上記廃棄物等保管施設は、併設施設（飲食店、サービス施設）の廃棄物等保管施設と共用します。

6　大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

※ 小売業者が複数ある場合は、「別紙（小売業者一覧）のとおり」と記載してください。
※ 別紙の場合で複数の営業時間がある場合、公告は「○○ほか」と表記します。
※ 年末年始やセール期間、夏季等に開店時刻の繰上げ又は閉店時刻の繰下げを行う場合は、「午前○時○分（ただし年間○日は午前○時○分）」等と記載してください。

開店時刻	午前○時○○分
閉店時刻	午後○時○○分

(2) 来客が駐車場を利用することができる時間帯

No.	駐車可能時間帯
No.○	午前○時○○分～午後○時○○分
No.○	午前○時○○分～午後○時○○分

※ 駐車場のNo.を記載してください（配置図記載のNo.と同じ）。
※ 駐車場ごとに駐車可能時間帯が異なる場合は、それぞれについて記載してください。

(3) 駐車場の自動車の出入口の数及び位置

No.	出入口の数	位　　置
No.○	入口No.1、出口No.1	○○○○（図No.○）
No.○	出入口No.1	○○○○（図No.○）
No.○	出入口No.2、出口No.2	○○○○（図No.○）
合計	5箇所	

※ 駐車場のNo.を記載してください（配置図記載のNo.と同じ）。
※ 出入口の数は、出入口等のNo.を記載し、合計欄に箇所数を記載してください。

【記載例】
・位置　→　敷地南側、敷地北西側、隔地など

(4) 荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

No.	荷さばき可能時間帯
No.○	午前○時○○分～午後○時○○分
No.○	午前○時○○分～午後○時○○分

※ 荷さばき施設のNo.を記載してください（配置図記載のNo.と同じ）。
※ 施設が複数で、荷さばき可能時間帯が異なる場合は、それぞれ記載してください。

様式第１　別紙（小売業者一覧）

番号	設置階	氏名（名称）	法人の場合 代表者氏名	住所（所在地）	主として販売する物品	店舗面積	開店時刻	閉店時刻
1	Ｂ１	株式会社○○	代表取締役 ○○　○○	東京都○区○ ○丁目○番○号	食料品	1,500㎡	24時間	
2	Ｂ１	未定			生活雑貨	1,300㎡	午前9時00分	午前0時00分
3-1	１Ｆ	株式会社○○	代表取締役 ○○　○○	東京都○区○ ○丁目○番○号	衣料品	1,800㎡	午前10時00分	午後9時00分
3-2	２Ｆ	同上	同上	同上	衣料品	900㎡	午前10時00分	午後9時00分
4	３Ｆ	未定			書籍	500㎡	午前10時00分	午後9時00分
5	３Ｆ	未定			生活雑貨	200㎡	午前10時00分	翌午前1時00分
6	３Ｆ	未定			ＣＤ・楽器	600㎡	午前10時00分	午後9時00分
小売業者数 合計		2社（名） ほか未定			店舗面積 合計	6,800㎡		

※　店舗面積はテナントの面積のみです。共通通路部分は含みませんので、小売業者の店舗面積と立地法届出店舗面積は一致しません。

※　店舗面積はテナントの面積のみを記載してください。
※　共通通路部分は含みませんので、小売業者の店舗面積と届出店舗面積が一致しない場合がありますが、その場合は、その旨を欄外に記載してください。
※　小売業者が未定の場合でも、計画している販売物品の種類を記載してください。
※　同一小売業者で売場等が異なる場合は、番号欄に枝番を使用してください。

Ⅰ　添　　付　　書　　類

大規模小売店舗立地法に基づく書類

1　法人にあってはその登記事項証明書、個人にあってはその住民票の写し

【規則第４条第１項第１号】

届出書（正本のみ）に添付　又は　登記情報連携システムにて確認のため省略

※　個人の場合はP30を参照してください。

2　主として販売する物品の種類

【規則第４条第１項第２号】

※　小売業者が複数ある場合は、「別紙（小売業者一覧）のとおり」と記載してください。

3　建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面

【規則第４条第１項第３号】

(1) 建物配置図　　（図№.○）

※　「Ⅱ－１　添付図面」を参照してください。

(2) 各階平面図　　（図№.○～○）

※　「Ⅱ－１　添付図面」を参照してください。

4　大規模小売店舗の立地環境

(1) 計画地の周辺環境

【記載例】
計画地は、○○線「○○駅」の南約○mに位置しています。
東側は、都道○○号（○○通り）を挟んで低層住居が立地しています。
西側は、都道○○号（○○通り）を挟んで事業所及び商業施設が立地しています。
南側は、病院が隣接しています。
北側は、都道○○号（○○街道）を挟んでマンション及び駐車場が立地しています。

※ 計画地は、○○地区再開発地域で、○年○月都市計画決定を受けている。

※　最寄駅からの方向及び距離を記載してください。
※　計画地の周辺の道路状況、周辺の立地などを簡潔に記載してください。
※　特に、商業集積地か、住宅地の立地かが明確に分かるように示してください。
※　再開発事業などの場合は、特記事項として、経過等を簡潔に記載してください。

(2) 用途地域

○○地域（○○%）、○○地域（○○%）

※　用途地域の正式名称、その割合を記載してください。
※　複数の用途地域がまたがる場合は、それぞれの割合を記載してください。

(3) 最寄り駅からの距離

○○線「○○駅」から○○m

※　最寄り駅の改札から店舗の敷地を結んだ地図上の水平直線距離を記載してください（必要駐車場台数の計算の基礎になりますので、正確に記載してください）。

5　建物構造及び規模

※　２以上の建物に分かれる場合はそれぞれについて記載してください。

(1) 建物構造

鉄骨・鉄筋コンクリート造　　地下〇階、地上〇階、塔屋〇階

(2) 店舗面積等の内訳

※　建築面積及び延べ床面積の定義は建築基準法によるものとします。

ア　敷地面積　　〇，〇〇〇㎡
イ　建築面積　　〇，〇〇〇㎡
ウ　延べ床面積　　〇，〇〇〇㎡
エ　各階ごとの店舗面積及び延べ床面積等

【記載例】　（単位：㎡）

区分／階数	店舗面積	併設施設ａ		併設施設ｂ	駐車場	その他（共用施設等）	延べ床面積
		オフィス	マンション	ａ以外の併設施設			
10F				3,000			3,000
∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫	∫
2F	1,600		1,000			300	2,900
1F	2,000	800			500	100	3,400
B１F	1,800				1,500	100	3,400
計	5,400	800	1,000	3,000	2,000	500	12,700

注）四捨五入により、個々の数値の和と計の欄が合致しない場合がある。

※　各区分・各階ごとの数値もそれぞれ小数点以下第１位を四捨五入してください。

(3) 施設構成

区分／施設名	面積		小売店舗に対する面積の割合	営業時間
小売店舗	（〇〇他〇社（名））	㎡	100%	24時間ほか
併設施設a		㎡		
	オフィス（〇社）	㎡		
	住居（〇戸）	㎡		
併設施設b（ａ以外の併設施設）		㎡	%	
	飲食（〇店舗）	㎡		午前〇時〇〇分～午後〇時〇〇分
	映画館	㎡		午前〇時〇〇分～午後〇時〇〇分
	ゲームセンター	㎡		午前〇時〇〇分～午後〇時〇〇分
合計		㎡		

※　併設施設（併設施設ａ、併設施設ｂ）の考え方は、「指針」を参照してください。

※ 併設施設の駐車場等について

区　分	小売店舗との共用・別途の別	備　考
駐車場	（共用）・別途	飲食、映画館、ゲームセンター
	共用・（別途）	オフィス、住居
自動二輪駐車場	（共用）・別途	
駐輪場	（共用）・別途	
荷さばき施設	（共用）・別途	
廃棄物等保管施設	（共用）・別途	飲食、映画館、ゲームセンター
	共用・（別途）	オフィス、住居

※　併設施設がある場合のみ記載してください。

6　必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠
【規則第４条第１項第４号】

(1) 指針による必要駐車台数計算式

事　　項　　等		各事項算出のための計算式等
地区の区分	商業地区 ・ その他地区	（理由　　）
S： 店舗面積	千㎡	
A： 店舗面積あたり日来店客数原単位	人／㎡	
B： ピーク率	14.4%	
L： 駅からの距離	m	（駅名　　○○線 ○○駅　　）
C： 自動車分担率	%	
D： 平均乗車人員	人／台	
E： 平均駐車時間係数		
必要駐車台数	台	S×A×B×C÷D×E
ピーク時台数	台	S×A×B×C÷D
一日当たりの来客台数	台	S×A×C÷D

※ 駐車場台数の算出方法は、「指針」を参照してください。
※ S～Eの値は、端数処理はしないでください。
※ 必要駐車台数は、小数点以下第１位を四捨五入してください。

(2) 特別の事情による駐車台数の算出

特別の事情の説明：

※ 指針による計算式によらない場合のみ記載してください。

必要駐車台数	台

（算出根拠）

(3) 駐車場の分散確保の有無

駐車場の分散確保の有無	理　　由
有 ・ 無	

(4) 駐車場の料金の有無

駐車場の料金の有無	理　　由
有 ・ 無	

(5) 従業員等駐車場（業務用を含む）

事　　項	有無の別	当該小売店舗駐車場と共用・別途の別	収容台数	備　　考（駐車台数算定の根拠等）
従業員等駐車場	有 ・ 無	共用・別途	○○台	（　従業員数　○○名　） （　業務用車両台数延べ約○○台　）

(6) 併設施設利用者のための駐車場について

名称	営業内容	面積	当該小売店舗駐車場と共用・別途の別	併設施設		
				必要駐車台　数	算出根拠	収容台数
商業施設	サービス業	○○㎡	共用　・　別途	○○台	←指針イに基づく○○条例	○○台
住宅施設	住宅	○○㎡	共用　・　別途	○○台	←指針ロのａに基づく○○条例	○○台
商業施設	飲食業	○○㎡	共用　・　別途	０台	←指針ロのｂに基づく２割以内	○○台

※　「指針」の「併設施設を含めた必要駐車場台数の考え方」を参考に記載してください。
※　当該施設の収容能力、利用時間、回転率等をもとに算出根拠を示してください。

7　駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

【規則第４条第１項第５号】

(1) 駐車場の自動車の出入口の形式

ア　出入口についての駐車場法等に基づく構造及び設備の基準の適用

適用の有・無	有　・　無	適用基準	駐車場法施行令第７条第１項第１号のハ
遵守状況 配慮状況	学校の出入口から25m離れた位置に設置した。 なお、駐車の用に供する面積が6000㎡を超えないが安全のため、駐車場の出口と入口を分離し、かつ、その間隔を10m離す構造とした。		

イ　駐車場の入庫処理能力

出入口の場所	１時間あたり入庫処理能力	算出根拠	ピーク１時間に予想される来客の自動車台数
出入口№○（図No.○）	○○台		○○台
出入口№○（図No.○）	○○台		○○台

※　自走式で発券ブースのない駐車場は記載の必要はありません。
※　｛１時間あたり入庫処理能力｝＝60分（3,600秒）／（メーカーから提供される１台当たりの処理時間＋乗客の乗降時間）×発券ブース等の台数（１つの入口で発券ブース等が複数台設置されている場合）
※　小数点以下第１位を四捨五入してください。

ウ　敷地内駐車待ちスペース

出入口の場所	駐車待ちスペースの有無	実際に用意する駐車待ちスペース	発券ブースの有無	必要な駐車待ちスペース*1		駐車待ちスペース『無』の場合その理由・対策
				長　さ	算出根拠等	
出入口№○ （図No.○）	有・無	○．○m	有・無	○．○m	（○×1.6−○）×6＝○.○	
出入口№○ （図No.○）	有・無	○．○m	有・無	○．○m	（○×1.6−○）×6＝○.○	

※　｛必要な駐車待ちスペース｝＝（当該入口の１分当たりの来台数×１．６－当該入口の１分当たりの入庫処理可能台数）×６m（平均車頭間隔）
※　必要な駐車待ちスペースがマイナスの値となる場合は、「長さ」に「0.0m」と記載してください。
*1　自走式で発券ブースのない駐車場は「必要な駐車待ちスペース（長さ・算出根拠等）」の記載は不要です。

(2) 敷地周辺の道路の状況

項　　目		道路No.1 （　都道○○号　）	道路No.2 （　特別区道○○号線　）	道路No.3 （　特別区道○○号線　）	道路No.4 （　私道　）
幅員構成	合　計	10m	8m	8m	6m
	車道	6m	5m	5m	3m
	車線数	片側 ・ 交互 1車線	片側 ・ 交互 1車線	片側 ・ 交互 1車線	片側 ・ 交互 1車線
	歩道の有無	左　1m 右　1m	左　1m 右　1m	左　1m 右　1m	左　1m 右　1m
	中央分離帯の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
	路肩	2m	1m	1m	1m
安全施設等		ガードレール			
交通規制		最大積載量2ｔ以上 貨物通行禁止			
信号交差点数(うち右折帯設置の交差点数)		2交差点 (1交差点)	2交差点 (1交差点)	2交差点 (1交差点)	2交差点 (1交差点)
横断歩道の有無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
通学路の有無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
バス路線の有無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
バスの事業者名		○○バス			
バス停の有無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
バス停の名称		○○○○前			
駐車場出入口から敷地寄りのバス停ポールまでの距離		12m			

※ 道路No.及び名称（正式名称、わかりにくい場合は通称も記載）を必ず記載してください。
※ 別添「周辺見取図」及び「駐車場配置図」にも、道路の「No.」及び「名称」を表示してください。
※ 交通規制の内容を記載し、「周辺見取図」にも規制内容を記載してください。
※ 隔地駐車場等がある場合は、その周辺道路についても適宜記載してください。

(3) 来客の自動車の方向別台数の予測の結果等

〈交通量調査及び交通量予測について〉
※ 平日及び休日（日曜）それぞれについて調査・予測してください。
※ 調査（予測）エリアは、原則として経路予定の店舗周辺最寄りの交差点（複合施設の場合は施設全体についても予測）となります。
※ 調査（予測）時間帯は、開店から閉店までの時間帯＋前後１時間ずつとしますが、不明な場合は相談してください。
※ 調査内容は、車種別・時間帯別・方向別台数となります。
※ 調査・予測結果は別添資料とし、見取図上に調査地点を図示してください。
※ 歩行者交通量について、調査が必要な場合があります。
※ 詳細及び様式は、『Ⅱ－２ 交通量調査及び交通量予測資料』を参照してください。

ア　現状の交通量調査の結果

調査年月日	年　月　日（　） 年　月　日（　）
調査場所	
調査委託先	
調査方法	
調査結果	別添資料とする。

イ　開店後の周辺道路の交通量予測

予測方法	
予測の根拠	
予測結果	別添資料とする。

(4) 併設施設利用者の交通量の予測

予測方法	
予測の根拠	
予測結果	別添資料とする。

8　来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法、管理体制

【規則第４条第１項第６号】

(1) 周辺見取図に来客の自動車の案内経路を表示した図面（図№○）

※　『Ⅱ－１　添付図面』を参照してください。

(2) 経路等を来客者に知らせる方法及び管理体制

項　　目	具　体　的　な　内　容
案内表示の設置 （看板等）	（設置場所・内容等） ※　看板、ミラー、出庫警報などの出入口の安全対策の設備は、「建物配置図」等に配置場所を記載してください。また、案内誘導看板は「周辺見取図」等に記載してください。
ちらし等の配布	（配布方法・内容等）
交通整理員の配置	（配置場所・人数・配置日時等） ※　平常時及び繁忙時に分け、対応を詳しく記載してください。 ※　交通整理員とは別に安全対策を行う係員がいる場合は、その旨も記載してください。 ※　交通整理員等は、「建物配置図」等に配置場所を記載してください。
店舗営業時間外、 深夜時間帯の管理等	（配置場所・人数・配置日時、防犯対策等）
右折入出庫の有無	※　右折入出庫がある場合は、理由及び安全対策を具体的に記載してください。 【記載例】 出入口№○については、前面道路が一方通行のため、右折入出庫とした。このため、出入口には交通整理員を常時配置し、安全確保に努める。
その他	※　通学時間帯の対応など、特に配慮していることがあれば記載し、適宜、図面にも盛り込んでください。 【記載例】 出入口№△には、右折出庫禁止看板、ミラーを設置する。

9　駐輪場の計画

(1) 必要駐輪台数算出根拠

条例（要綱）名	○○区自転車等の適正利用の推進及び自転車等駐輪場の整備に関する条例	
条例（要綱）による「自転車等」の定義	原動機付自転車	含む・含まない（○印）
Ｓ：店舗面積	○，○○○㎡	
必要駐輪台数算出式		
必要駐輪台数	○○台	

※　区市町村で自転車附置義務条例、要綱等が制定されている場合に記載してください。
※　収容台数の端数処理は、区市町村の条例、要綱等を確認してください。

(2) 駐輪場台数の予測の結果と算出根拠（区市町村で自転車附置義務条例、要綱等が制定されていない場合）

必要駐輪台数	○○台

（算出根拠）

※　区市町村で自転車附置義務条例、要綱等が制定されていない場合に台数を設定をした算出根拠を記載してください。
（例）指針による参考値→店舗面積が3,000㎡以下の場合、35㎡に1台
※　原動機付自転車の駐車スペースは、駐輪場として届け出てください。

(3) 駐輪場の構造、収容台数及び面積

No.	構造	収容台数		合計	面積	駐輪区画の大きさ（1台当たり）	
		自転車	原付			自転車用	原付用
No.○	ラック式	○○台	○○台	○○台	○○㎡	○．○m×○．○m	
No.○	平面式	○○台	○○台	○○台	○○㎡	○．○m×○．○m	○．○m×○．○m
No.○	機械式	○○台	○○台	○○台	○○㎡	○．○m×○．○m	
合計		○○台	○○台	○○台	○○㎡		

※駐輪場が複数ある場合は、合計を入れてください（合計は届出台数に一致します）。
届出外の駐輪場がある場合は、表下に※書きで記載してください。

(4) 駐輪場の管理体制

項　目	具体的な内容
整理員等の配置	※　配置場所・人数・配置日時等を記載してください。 ※　駐輪場の整理員等の配置がある場合は、「建物配置図」等にも記載してください。
店舗営業時間外、深夜時間帯の管理等	※　配置場所・人数・配置日時、防犯対策等を記載してください。
料金の有無及び理由	（　有　・　無　） ※　その理由を記載してください。

１０ 自動二輪駐車場の計画

No.	構造 （平面式・立体式・機械式の別）	収容台数	面積	駐車区画の大きさ （1台当たり）
No.〇		〇〇台	〇〇㎡	〇m × 〇m

（算出根拠）

※ 台数を設定した算出根拠を記載してください。

【記載例①】自動二輪駐車台数に関する条例がない場合
〇〇区は自動二輪駐車台数に関する条例がないため、既存類似店の実績により算出した。
→ 〇〇台（類似店のピーク時在庫台数）×〇．〇（面積比）＝〇〇台

【記載例②】自動二輪駐車台数に関する条例・既存類似店がない場合
〇〇区は自動二輪駐車台数に関する条例がないため、標準駐車場条例にある参考値により算出した。
→ 店舗面積〇,〇〇〇㎡／〇〇〇㎡＝〇〇台

１１ 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯

【規則第４条第１項第７号】

時間帯	２ｔ車	４ｔ車	計	廃棄物車両	平均的な荷さばき等処理時間			延べ荷さばき処理時間
8時 ～ 9時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
9時 ～ 10時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
10時 ～ 11時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
11時 ～ 12時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
12時 ～ 13時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
13時 ～ 14時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
14時 ～ 15時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
15時 ～ 16時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
16時 ～ 17時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
17時 ～ 18時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
18時 ～ 19時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
19時 ～ 20時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
20時 ～ 21時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
21時 ～ 22時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
22時 ～ 23時	〇台	〇台	〇台	〇台	2ｔ 〇〇分	4ｔ 〇〇分	廃 〇〇分	〇〇分
合計	〇台	〇台	〇台	〇台				

※ 廃棄物車両は、荷さばき施設を利用する場合のみ記載してください。

【記載例】
・同時に〇台(〇〇分)の作業が可能なため、ピーク時の〇台(〇〇分)に対応可能と考えています。万一〇台以上の荷さばき車両が集中した場合には、待機場所での待機が可能であり、周辺交通に影響を及ぼすことはありません。また、道路上での入庫待ち等を発生させることがないよう、計画的な荷さばきを徹底します。

※ ピーク時における対応策について記載してください。
※ 交通整理員の配置など、荷さばき時における交通安全上の配慮事項があれば、記載してください。
※ 特に通学路に出入口が面している場合など、通学時間帯についての配慮事項があれば記載してください。

１２ 荷さばき施設の計画

(1) 荷さばきに必要な作業スペース

No.	想定する車両	想定される搬入商品全体の大きさ（車両１台分）	作業スペースの大きさ	搬入方法の説明
No.○ （図No.○）	○ｔ車	全長　○．○m 全幅　○．○m 全高　○．○m	奥行　○．○m 幅　○．○m 高さ　○．○m	ロールボックスまたは段ボールを倉庫に搬送

※ 「作業スペース」は、搬出入商品を荷おろしする場所で、保管施設及び駐車スペースには含みません。
※ 「作業スペースの大きさ≧想定される搬入商品全体の大きさ」の関係になります。

(2) 搬出入車両の安全・円滑な駐車及び出入り

No.	想定する車両	大きさ	軌跡図	はり下の最低高さ	出入口での前進入出庫	対応等
No.○ （図No.○）	○ｔ車	全長　全幅　全高 ○．○m　×○．○m　×○．○m	図No.○	○．○m	可・否	

※ 安全･円滑な駐車及び入出庫を行うための対応等を記載してください。
※ 駐車場条例による技術的基準を遵守してください。

(3) 荷さばき施設の構造

No.	同時作業可能台数		待機スペースの有無	遮音等の対応
	想定する車両	台数		
No.○ （図No.○）	○ｔ車	○台	有 ・ 無 縦○．○m　×　横○．○m	

(4) 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	出入口の数	対　応　等
有	出入口１箇所	
無		

１３ 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

【規則第４条第１項第８号】

No.	高さ	厚さ	材質・構造	位置
No.○	○．○m	○．○m		図No.○
No.○	○．○m	○．○m		図No.○

別途添付「Ⅱ－３ 騒音予測資料（4)予測・評価の前提条件 ⑥ 遮音壁の位置及び高さ」（ｐ．○）

※ 遮音壁を設置する場合は、その構造（高さ・厚さ・材質）及び位置を記載してください（「騒音予測資料を参照」でも結構です）。
※ 図面にも遮音壁の位置を記載してください。
※ 遮音壁を設置しない場合は、「遮音壁の設置なし」と記載してください。

１４ 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼動時間帯及び位置を示す図面

【規則第４条第１項第９号】

※ 「騒音予測資料」を参照の上、関連の設備及び稼動時間帯の一覧を記載してください（数が多い場合は「騒音予測資料を参照」でも結構です）。
※ 該当する設備がない場合は、「該当の設備なし」と記載してください。

別途添付「Ⅱ－３ 騒音予測資料（4)予測・評価の前提条件 ② 定常騒音（冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機の稼動時間帯及び位置）」（ｐ.○）

１５ 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

【規則第４条第１項第１０号】

※ 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果を記載してください。
※ 「予測結果の評価」には騒音に対する対策等の詳細（超過の理由や対策）を記載してください。
※ 予測結果が環境基準を超過する場合は、予測結果に網掛けをしてください。

	予測地点	昼間		夜間	
	GLからの予測地点の高さ（m）	環境基準（dB）	予測結果（dB）	環境基準（dB）	予測結果（dB）
A					
B					
C					
D					

予測結果の評価について

【記載例】
昼間、夜間ともに、すべての予測地点において等価騒音レベルは環境基準値を下回ります。現状、近隣住民の方々より騒音に関するご意見を頂いてはおりませんが、ご意見を頂いた場合は誠意を持って対応いたします。

算出根拠については、別途添付「Ⅱ－３ 騒音予測資料（5)平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測結果とその算出根拠」（ｐ.○）

＜騒音予測について＞
※ 騒音対策を施したあとの騒音予測結果を記載してください。
※ 騒音予測地点は、建物の周囲(４方向)からそれぞれ近接した最も騒音の影響を受けやすい地点に立地し又は立地可能な住居等の屋外（原則として相手方の敷地の境界線）とし、Ａ地点、Ｂ地点、Ｃ地点、Ｄ地点等と表記してください。（敷地の一辺が５０m以上ある場合等、敷地の形状によっては適宜予測地点を追加してください。）
※ 騒音発生源と予測地点、周辺環境との関係が分かるよう、別添図面（下記①～④）に各予測地点を記載してください（「Ⅱ－１ 添付図面」参照）。
① 騒音予測に関する平面図
② 騒音発生源となる施設・設備の配置図
③ 騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図
④ 建物構造の分かる図面
※ 各予測地点の騒音レベルの算出根拠は別添資料とし、算出過程を明示してください。
※ 算出根拠の様式は、「Ⅱ－３ 騒音予測資料」を参照してください。

１６ 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

【規則第４条第１項第１１号】

※ 深夜営業その他の理由により夜間(午後11時～翌日午前６時)騒音が発生する見込みがある場合のみ記載してください（該当なしの場合は、「該当なし」と記載）。
※ 「予測結果の評価」には、騒音に対する対策等の詳細（超過の理由、対策等）を記載してください。
※ 保全対象建物の壁面予測を行った場合は、その結果も記載してください。
※ 予測結果が規制基準を超過する場合は、予測結果に網掛けをしてください。

	予測地点 GLからの予測地点の高さ（m）	規制基準（dB）	予測結果（dB）
a			
b			
c			
d			

予測結果の評価について

【記載例】
予測地点○地点において、騒音レベルの最大値の合成値は規制基準を下回りますが、予測地点○地点においては○○の影響により騒音レベルの最大値の合成値は規制基準を上回ります。設備機器のメンテナンスを行うほか、来店車両出入口及び駐車場内に徐行を促す看板を設置する等、騒音レベルの低減に努めますが、近隣から騒音に関するご意見を頂いた場合には、誠意をもって対応します。

算出根拠については、別途添付「Ⅱ－３ 騒音予測資料 (6)夜間において大規模小売店舗の施設運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠」（ｐ.○）

＜騒音予測について＞
※ 騒音予測地点は、隣接する住居等への影響を考慮した高さにおける店舗の敷地境界線とし、ａ地点、ｂ地点、ｃ地点、ｄ地点等と表記してください。
※ 敷地の一辺が５０m以上ある場合等、敷地の形状によっては適宜予測地点を追加してください。
※ 夜間最大値が規制基準を超える場合は、保全対象建物での壁面予測も行ってください。
※ 騒音発生源と予測地点、周辺環境との関係が分かるよう、別添図面（下記①～④）に各予測地点を記載してください。（「Ⅱ－１　添付図面」参照）
① 騒音予測に関する平面図
② 騒音発生源となる施設・設備の配置図
③ 騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図
④ 建物構造の分かる図面
※ 各予測地点の騒音レベルの算出根拠は別添資料とし、算出過程を明示してください。
※ 算出根拠の様式は、「Ⅱ－３ 騒音予測資料」を参照してください。

１７ 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

【規則第４条第１項第１２号】

※ 計画の廃棄物保管量及び排出予測量評価を記載してください。
※ 種別ごとに保管容量が予測容量に対応できることを検証してください。

(1) 廃棄物等の排出量等の予測

業態	総合店・衣料品専門店・食料品専門店・住、生活関連品専門店					
廃棄物等種別	店舗面積：S		一日あたり廃棄物排出量（指針原単位×S）：A	平均保管日数：B	見かけ比重（t/㎥）：C	排出予測量 A×B÷C
紙製廃棄物等（再資源化の可能なものに限る）	6,000㎡以下の部分	千㎡	（ t）	日		○○．○○○○㎥
	6,000㎡超の部分	千㎡	（ t）			
			計 t			
金属製廃棄物等（アルミ製、スチール製の缶等）	6,000㎡以下の部分	千㎡	（ t）	日		○○．○○○○㎥
	6,000㎡超の部分	千㎡	（ t）			
			計 t			
ガラス製廃棄物等（ガラス製の容器等）	6,000㎡以下の部分	千㎡	（ t）	日		○○．○○○○㎥
	6,000㎡超の部分	千㎡	（ t）			
			計 t			
プラスチック製廃棄物等（飲料容器、食料品トレイ等）	6,000㎡以下の部分	千㎡	（ t）	日		○○．○○○○㎥
	6,000㎡超の部分	千㎡	（ t）			
			計 t			
生ごみ等（食品廃棄物等）	6,000㎡以下の部分	千㎡	（ t）	日		○○．○○○○㎥
	6,000㎡超の部分	千㎡	（ t）			
			計 t			
その他の可燃性廃棄物等	6,000㎡以下の部分	千㎡	（ t）	日		○○．○○○○㎥
	6,000㎡超の部分	千㎡	（ t）			
			計 t			
				合 計		○○．○○㎥

※ 種別毎の排出予測量は、小数点以下第５位を四捨五入し、小数点以下第４位まで記載してください。
※ 合計値は、小数点以下第３位を四捨五入し、小数点以下第２位まで記載してください。

見かけ比重の根拠等

(2) 指針によらない廃棄物等の排出量予測

指針によらない説明

予測排出量	○○．○○㎥

排出量予測の根拠

※ 指針によらない場合のみ記載してください。

(3) 小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出状況

廃棄物保管施設の状況	小売店舗と共用　・　小売店舗と別途確保

※ 小売店舗以外の施設がある場合のみ記載してください。

（共用の場合）

小売店舗以外の施設からの廃棄物等の予測排出量	小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出量の予測の根拠
○○．○○㎥	

※ 計画している廃棄物保管量と排出予測量評価を記載してください。
※ 種別毎に保管容量が予測容量に対応できることを検証してください。

１８ 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

廃棄物減量化及び発生抑制、リサイクル計画の予定及び概要

【記載例】
・ 廃棄物の減量化、発生抑制に向けた計画・予定
・ 家電リサイクル法に基づいた計画・予定
・ 食品リサイクル法に基づいた計画・予定
・ 容器包装リサイクル法に基づいた計画・予定
・ 資源有効利用促進法に基づいた計画・予定

※ 区市等の条例、要綱等に基づき廃棄物等の減量・リサイクル計画を記載してください。
※ 法令に基づいた計画・予定など、該当する項目について、なるべく具体的に詳しく記載してください。
※ 業種・業態にあわせた計画としてください。
※ 記載内容や表現については各法令に基づいた表記としてください。

周辺住民への周知方法

１９ 廃棄物等に関連する対応方策

※ 食品加工時の悪臭原因物取除機器設置、換気扇等の配置位置の配慮、定期的な清掃の実施等について記載してください。

２０ 防犯・防災対策への協力

(1) 防犯対策

防犯対策への協力の予定及び概要

【記載例】
・巡視員が定期的に巡回し防犯に努めます。
・防犯カメラを店舗出入口等に設置し監視します。
・地域パトロールの活動に参加し地域の防犯に協力します。

店舗閉店後、深夜時間帯の防犯対策

【記載例】
・店舗閉店後は、出入口をチェーン等で施錠し、青少年の溜まり場にならないよう配慮します。また、警備は機械警備により防犯に努めるとともに、協定等について締結要請がある場合は必要な協力を行います。
・深夜(午後１１時から翌日午前４時)に営業する場合
東京都青少年の健全な育成に関する条例に基づき、深夜の時間帯に施設内及び敷地内にいる青少年に対し、帰宅を促すよう努めます。

(2) 防災対策

防災協定等締結の有無	締　結　協　定　の　内　容
有　・　無	

防災協定計画の予定及び概要

【記載例】
・地方公共団体より、災害時の避難場所として駐車場敷地の一部の使用あるいは店舗で扱っている範囲の物資の緊急時における提供を行うための協定等について締結要請がある場合は、必要な協力を行います。

２１ 街並みづくり計画の有無とその内容及び配慮事項

(1) 街並みづくり計画の有無とその内容

※ 計画地における街並みづくり計画の有無とその概要について、具体的に記載してください。

(2) 街並みづくり等への配慮事項（特記すべき事項があれば記載）

(3) 敷地内の緑化計画

敷地面積	緑化面積	緑化の方法	緑化率の根拠及び基準
○，○○○㎡	○○○㎡		○○条例 ○○㎡の○○％

※ 充足確認のため、計算式を記載してください。また、不足分を他で確保している場合は、その旨記載してください。

(4) 景観への配慮

※　可能であれば、建物完成予想図等を添付してください。

(5) 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策（現時点の計画の範囲で記載）

項　　目	屋外照明	広告塔照明
照明灯の配置	別添配置図上に記載	別添配置図上に記載
照明灯の方向		
照明の強さ		
点灯時間		
光害対策		

２２ 社会貢献等配慮事項

※ 特記すべき事項があれば記載してください。

Ⅱ 別　添　書　類

1　添付図面（記載例）

目　　次

図面番号	図面の名称	図面の種類	ページ
1	広域見取図	建物位置図	P1
2	都市計画図	都市計画図	P2
3	周辺見取図	来客自動車の案内経路図	P3
		交通量調査の結果	
		交通量予測の結果等	
4	建物配置図	届出店舗が「一の建物」であることを示す図面	P4
		駐車場配置図	
		駐輪場配置図	
		荷さばき施設配置図	
		廃棄物等保管施設の配置図	
		屋外照明・広告塔照明配置図	
5	平面図	各階平面図（B1階）	P5
6		各階平面図（１階）	P6
7		各階平面図（２階）	P7
8		各階平面図（３階）	P8
9		各階平面図（４階）	P9
10		各階平面図（５階）	P10
11		各階平面図（６階）	P11
12		各階平面図（屋上）	P12
13	車両軌跡図	車両軌跡図	P13
		荷さばき車両等軌跡図	
14	廃棄物等保管施設詳細図	廃棄物等保管施設の配置図	P14
15	騒音予測に関する平面図	騒音予測に関する平面図	P15
		騒音発生源となる施設・設備の配置図	
16	騒音予測に関する立面図	騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図	P16
		建物構造の分かる図面	

※　次頁の「添付図面の記載項目等について」の「提出する図面の種類」の該当するものを記載してください。
※　添付図面は、記載例のように可能な限りまとめて記載してください（ただし、1つの図面にまとめることが困難な場合には、別葉の図面としても結構です）。
※　図面には、縮尺・スケール・方位を明記してください（２枚以上に図面を分けた場合には縮尺を統一してください）。
※　各図面の番号、名称、ページ番号は、Ａ４サイズにＺ折りしたときに、Ａ４の右半分に見えるように記載してください。
※　添付図面には、記載例のように目次をつけてください。
※　記載例にない図面（立面図等）の添付をお願いすることがあります。

〈参考〉　添付図面の記載項目等について

※ 添付図面については、下記を参考に作成してください。
※ 図面作成にあたっては、適宜まとめるなど、わかりやすいよう工夫してください。

分類	提出する図面の種類	記載項目等	図面の表示範囲	併用可能な図面等
広域見取図	建物位置図	・周辺道路の状況が分かるもの。 ・計画地を図の中央に記載したもの。 ・地形図は使用しないこと。	計画地から半径３㎞～５㎞	
周辺見取図	都市計画図	・用途地域、容積率を記載したもの。	出店地から半径１㎞程度	これらの図面をすべて「周辺見取図」としてまとめて記載することも可。
	来客自動車の案内経路図	・自動車の案内経路を表示する（入場・出場両方を記載）。 →　来客自動車、小売店舗以外の複合施設利用者の案内経路、搬出入車両の運行経路、経路案内看板の設置場所、交通整理員の配置 ・小学校等が近隣にある場合は通学路を表示する。	出店地から半径１㎞程度	
	交通量調査の結果	・現状の平日・休日それぞれの交通量調査の結果（ピークのトータル値）	出店地から半径１㎞程度	
	交通量予測の結果等	・開店後の周辺道路の交通量の予測の結果 ・利用者層を異にする複合施設の利用者の交通量の予測の結果	出店地から半径１㎞程度	
建物配置図	届出店舗が「一の建物」であることを示す図面	・店舗敷地とその境界の状況（公道に接道、フェンス・壁等の設置の有無） ・空中歩廊及び地下歩道で接続している他の建物がないことの説明 ・店舗の出入口 ・来客者の店舗の入口までの歩行者経路	店舗敷地及び隣地との境界の状況が分かる範囲	各階平面図
	駐車場配置図	・店舗の周辺の道路状況（添付書類Ⅰ－７－(2)の道路№を記載） →正確な道路・交差点形状／車線構成／車道・歩道幅員／バス停・信号機・大型標識等の施設位置／横断歩道・停止線等の路面表示内容 ・駐車場の配置（複数の駐車場がある場合には、番号を記載して区別してください。） ・駐車区画の配置（寸法入り） ・駐車場内外の自動車の通路、マスの一連番号、その幅員 ・駐車場の出入口の位置及び幅員、出入口の端から約１０m以内にある交差点、交通施設等との距離、車両（大きさを明記）の走行軌跡（複数の出入口がある場合には、番号を記載して区別してください。） ・駐車場から店舗の入口までの歩行者経路 ・交通整理員の配置 ・駐車待ちスペースの位置及び入出庫の発券ブースの位置（設ける予定のある場合のみ、複数ある場合は、番号を記載し区別してください。）	店舗敷地及び周辺の建物・道路状況が網羅できる範囲	

建物 配置図		・計画地と道路を挟んで立地している建物等（住宅、学校、病院等）を詳しく記載 ・自動二輪車駐車場の配置 ・自動二輪車駐車場案内表示の位置 ・自動二輪車駐車場から店舗の入口までの歩行者経路		各階 平面図
	駐輪場 配置図	・駐輪場の配置（複数ある場合は番号を記載して区別してください。） ・駐輪区画の配置（寸法入り） ・駐輪場への自転車の経路 ・駐輪場から店舗の入口までの歩行者経路 ・駐輪場案内表示の位置	店舗敷地及び周辺の建物・道路状況が網羅できる範囲	
	荷さばき 施設配置図	・出入口の位置、出入口付近の走行軌跡（複数ある場合は番号を記載して区別してください。） ・出入口付近の建物現況（住宅・学校・病院等） ・出入口が接する道路の位置、幅員 ・敷地内走行ルート、天井高（路面直角方向）、車両高 ・整理員の配置場所 ・荷さばき車両の荷さばき時の停止位置、天井高 ・想定される車両の大きさと同時作業可能な台数 ・プラットフォーム及び待機スペースの位置、大きさ	店舗敷地及び周辺の建物・道路状況が網羅できる範囲	
	廃棄物等 保管施設 の配置図	・廃棄物保管施設の位置及び隣接地の用途（複数ある場合は番号を記載して区別してください。）	店舗敷地及び周辺の建物・道路状況が網羅できる範囲	
	屋外照明・ 広告塔照明 配置図	・屋外照明灯・広告塔照明灯の位置	店舗敷地を網羅できる範囲	
平面図	各階平面図	・各業態が占める範囲を示した各階ごとの平面図	店舗敷地を網羅できる範囲	
車両 軌跡図	車両軌跡図、 荷さばき車両 等軌跡図	・駐車場及び荷さばき施設、各出入口の走行軌跡を記載	駐車場や荷さばき施設、出入口の全体が網羅でき、かつ、車両の軌跡がわかる範囲	建物配置図 各階平面図
廃棄物等 保管施設 詳細図	廃棄物等 保管施設 の構造図	・廃棄物の種類別に、保管容器の寸法、高さ、構造等を記載 ・生ごみ保管施設の冷蔵の有無を記載 ・リサイクル品のストックヤードの寸法、高さ、構造等を記載	廃棄物等保管施設の全体が網羅でき、かつ、施設内の詳細が判別できる範囲	

騒音予測に関する平面図	騒音予測に関する平面図	・住宅地図を使用し、用途地域と第１、２、３特別地域を記載 ・ 第２種区域、第３種区域又は第４種区域の区域内に所在する学校、児童福祉法第３９条第１項に規定する保育所、病院、医療法第１条の５第２項に規定する診療所（患者の収容施設を有するものに限る。）、図書館法第２条第１項に規定する図書館及び老人福祉法第５条の３に規定する特別養護老人ホーム、幼保連携型認定こども園の敷地の周囲おおむね５０メートルの区域内（第１特別地域、第２特別地域及び第３特別地域を除く。）の位置に明確な印を付けること。 ・すべての騒音発生源を透過的に表示し、騒音発生源と予測地点の平面上の位置関係を記載 ・予測上のＸ－Ｙ座標軸を記載	計画地の敷地境界から半径100m程度	適宜、周辺見取図や建物配置図を併用
	騒音発生源となる施設・設備の配置図	・各施設設備の配置、寸法 →　冷却塔、室外機、給排気口等 →　駐車場、荷さばき施設、廃棄物等保管施設、拡声器等 ・騒音予測地点。 ・遮音壁、緑地帯等の防音施設の配置（寸法入り） ・自動車・荷さばき車両等の走行車線、車線を分割した区間、区間の中点に配置した音源の位置 ・計画地と道路を挟んで立地している建物等（住宅、学校、病院等）を詳しく記載	店舗敷地及び周辺の建物・道路状況が網羅できる範囲	
騒音予測に関する立面図	騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図	・東・西・南・北の各方向から４図面を作成 ・すべての騒音発生源を透過的に表示し、騒音発生源・遮音壁等と予測地点の立面上の位置関係を記載 ・予測地点は、手前側から見通せないもの以外をすべて記載 ・予測地点と建物との距離、ＧＬからの高さ、地表面からの高さを正確に記載。あわせて、数値も記載 ・立面図上に敷地境界、隣接する住居等の形状を記載 ・計画地と道路を挟んで立地している建物等（住宅、学校、病院等）を詳しく記載	店舗敷地を網羅できる範囲	
	建物構造の分かる図面	・当該建物の壁面等の材質構造が分かる図面 ・当該騒音発生源と当該建物の壁面の距離・位置が分かる図面 ※　騒音発生源が屋内に設置されている場合に添付してください。	建物及び予測地点が網羅できる範囲	騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図

２　交通量調査及び交通量予測資料（記載例）

交通量調査及び交通量予測資料の作成にあたっては、「交通対策に関するケーススタディ（平成１２年１２月）通商産業省」のほか「大規模小売店立地法の解説（１９年５月）経済産業省」などを参考にしてください。

※ 経済産業省ホームページ 大規模小売店舗立地法のメニューに資料が掲載されています。
（https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/daikibokouritenporittiho.html）

目　　次

(1) 店舗計画概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

(2) 位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

(3) 広域アクセス経路図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

(4) アクセス経路図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

(5) 交通量予測の結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

(6) 現況と開店後における交通量の比較 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

ア 方向別交通量 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

イ 交差点飽和度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

ウ 交差点混雑度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

(7) 交通量調査結果等資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ○ページ

(1) 店舗計画概要

(2) 位置図

(3) 広域アクセス経路図

※ 図面には、縮尺及びスケールを明記してください。

(4) アクセス経路図

※ 図面には、縮尺及びスケールを明記してください。

(5) 交通量予測の結果

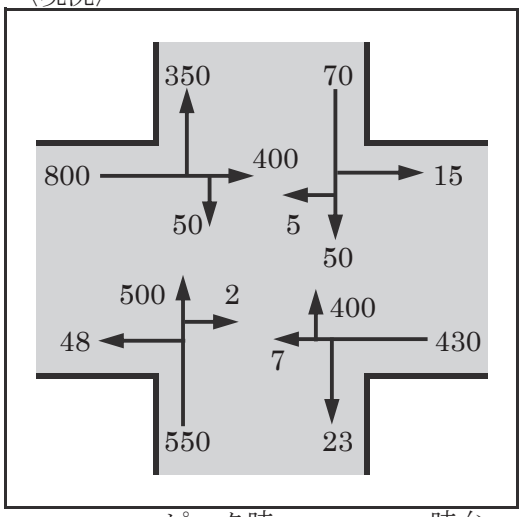
※ 来店自動車数、断面交通量、交通解析など計画地の現状に応じて、必要なデータを添付してください。

(6) 現況と開店後における交通量の比較

ア 方向別交通量

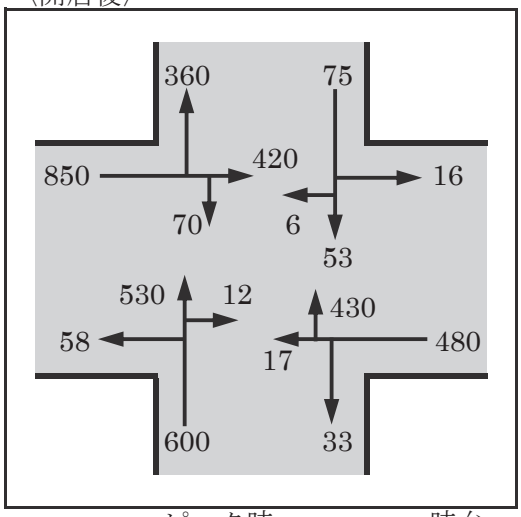
① 平日

〈現況〉



ピーク時： 時台

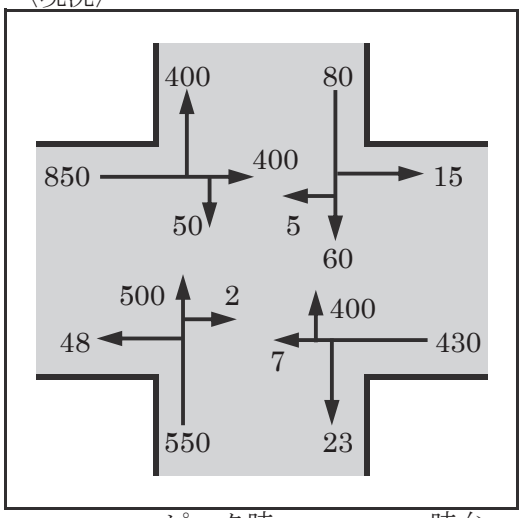
〈開店後〉



ピーク時： 時台

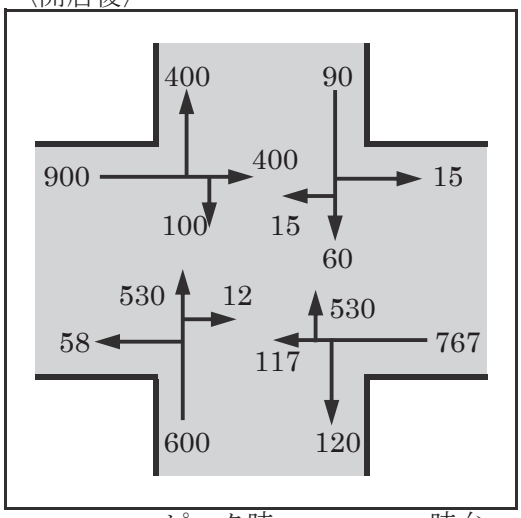
② 休日

〈現況〉



ピーク時： 時台

〈開店後〉



ピーク時： 時台

イ　交差点飽和度

	平日		休日	
	現況	開店後	現況	開店後
飽和度				
ピーク時	時台	時台	時台	時台

※　交差点飽和度の算出にあたっては、算出過程の分かるものを添付してください。

ウ　交差点混雑度

※　必要に応じて関連資料を提出してもらう場合があります。

(7) 交通量調査結果等資料

※　交差点における車種別、時間帯別交通量を調査方向別に記載し、最後に交差点交通量（各方向別の合計）を記載してください。

ア　平日

〈 調査方向１ 〉

区分	普通車	大型車	小計	自動二輪車	合計
9:00 ～ 10:00					
10:00 ～ 11:00					
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
18:00 ～ 19:00					
19:00 ～ 20:00					
計					

〈 調査方向○ 〉

区分	普通車	大型車	小計	自動二輪車	合計
9:00 ～ 10:00					
10:00 ～ 11:00					
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
18:00 ～ 19:00					
19:00 ～ 20:00					
計					

〈 交差点交通量 〉

区分	普通車	大型車	小計	自動二輪車	合計
9:00 ～ 10:00					
10:00 ～ 11:00					
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
18:00 ～ 19:00					
19:00 ～ 20:00					
計					

イ　休日（日曜）

※　「平日」と同様に記載してください。

3　騒音予測資料（記載例）

騒音予測資料の作成にあたっては、「Ⅴ　騒音予測の手引き（P223）」掲載の「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き（第２版）、本編及び参考資料編（平成２０年１０月）経済産業省」及び「騒音の予測に係るケーススタディ（平成１３年２月）経済産業省」を参考にしてください。

※ 経済産業省ホームページ 大規模小売店舗立地法のメニューに資料が掲載されています。
（https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/daikibokouritenporittiho.html）

目　　　　　　　　　　　　　次

(1)　目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　○ページ

(2)　予測・評価地点の設定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　○ページ

ア　周辺状況
当該店舗の周辺立地状況、都市計画上の用途地域及び環境・規制基準値
イ　予測・評価地点の設定

(3)　予測・評価の結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　○ページ

予測結果の総括一覧表
ア　昼間・夜間の等価騒音レベルの予測結果の評価
イ　夜間の騒音レベルの最大値の予測結果の評価

(4)　予測・評価の前提条件　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　○ページ

ア　騒音の分類及び算定数式
イ　定常騒音（冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機の稼動時間帯及び位置）
ウ　変動騒音（駐車場、荷さばき施設の使用時間、各種車両の運転時間、車両の走行と台数、後進警報ブザー、廃棄物収集作業、荷さばき台車走行）
エ　衝撃騒音（荷さばき荷おろし音及びドア開閉音）
オ　変動及び衝撃騒音の騒音発生源の諸元及び騒音レベルの測定条件（手引き・カタログ値を使わない場合）
カ　遮音壁の位置及び高さ
キ　騒音予測に関する図面
①　騒音予測に関する平面図
②　騒音発生源となる施設・設備の配置図
③　騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図
④　建物構造の分かる図面

(5)　平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠　・・・　○ページ

(6)　夜間において、大規模小売店舗の施設運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及び算出根拠　・・・　○ページ

(1) 目的

(2) 予測・評価地点の設定

ア 周辺状況
当該店舗の周辺立地状況、都市計画上の用途地域及び環境・規制基準値

※ 環境基準及び規制基準は、予測評価の根拠になりますので正確に記載してください。

イ 予測・評価地点の設定

※ 予測・評価地点の設定根拠について、詳細を記載してください。

(3) 予測・評価の結果
予測結果の総括一覧表

ア 昼間・夜間の等価騒音レベルの予測結果の評価

イ 夜間の騒音レベルの最大値の予測結果の評価

(4) 予測・評価の前提条件

ア 騒音の分類及び算定数式

※ 「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」による場合は、用いた数式番号を記載してください。 それ以外の計算式を用いた場合は数式を記載してください。

イ 定常騒音（冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機の稼動時間帯及び位置）

No.	機器名称	稼動時間帯	位置
1	キュービクル	○時○分 ～ ○時○分	P○配置図 P○立面図
2	室外機	○時○分 ～ ○時○分	P○配置図 P○立面図
3	送風機	○時○分 ～ ○時○分	P○配置図 P○立面図
4	その他（ ）	○時○分 ～ ○時○分	P○配置図 P○立面図

※ 騒音発生機器の位置（No.○）を配置図及び立面図に記載してください。

ウ 変動騒音（駐車場、荷さばき施設の使用時間、各種車両の運転時間、車両の走行と台数、後進警報ブザー、廃棄物収集作業、荷さばき台車走行）

エ 衝撃騒音（荷さばき荷おろし音及びドア開閉音）

オ 変動及び衝撃騒音の騒音発生源の諸元及び騒音レベルの測定条件
（手引き・ カタログ値を使わない場合）

カ 遮音壁の位置及び高さ

No.	高さ	厚さ	材質・構造	位置
No.○	○．○m	○．○m		図No.○配置図 図No.○立面図
No.○	○．○m	○．○m		図No.○配置図 図No.○立面図

※ 遮音壁の位置（No.○）を配置図に記載の上、遮音壁の高さが分かるように立面図に記載してください。

キ 騒音予測に関する図面
① 騒音予測に関する平面図
② 騒音発生源となる施設・設備の配置図
③ 騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図
④ 建物構造の分かる図面

(5) 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

※　P66の記載要領・注意事項を参照してください。

(6) 夜間において、大規模小売店舗の施設運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

※　P66の記載要領・注意事項を参照してください。

〈記載要領・注意事項〉

【共通】

※　高さを測定する原点は、建物の計画地盤高(ＧＬ)としてください。高さ、距離、騒音レベルは、小数点以下第２位を四捨五入の上、小数点以下第1位まで記載してください。
※　遮音壁を設置する場合は、構造（高さ、厚さ、材質等）等を図面に記載するとともにその理由と効果について算出根拠の中で明示してください。
※　高層住居等が隣接又は隣接可能な場合は、影響を受ける高層階の騒音についても予測してください。
※　騒音発生源が屋内に設置されている場合は、当該建物の壁面等の材質・構造、及び当該騒音発生源の位置・高さが分かるよう図面に記載してください。
※　予測結果の評価(各地点の基準適合状況、超過原因、超過への対策の記述)を行ってください。
※　特別の事情による（指針による計算式によらない）場合は下記(１)(２)を記載してください。 （１）特別の事情の説明 （２）予測騒音レベルと算出根拠
※　定常騒音、ＢＧＭの個々の騒音発生源については、機器等が既に設置されており、経年変化が見込まれる場合等は、実測を行ってください。
※　実測による場合は、日時、天気、使用機器等を記載してください。
※　騒音発生源の一辺の長さが５０㎝を超えるときは、その長さの２倍以上離れた地点で、実測してください。
※　自動車走行騒音は、区間ごとに記載してください。なお、区間をグループ化した場合は、計算過程の詳細について、別途資料を提出してください。 また、入店、退店で２回走行する区間は、２回分の騒音を加味して予測してください。
※　商業宣伝を目的とする拡声器の使用に当たっては、時間帯、音量等の規制等がありますので、遵守の上で予測してください。内容の詳細は、環境担当部局にお問い合わせください。
※　該当なしの項目は０(ゼロ)表示せず、空欄又はハイフンで表示してください。０(ゼロ)表示は、エネルギーが存在するため合成計算が必要となります。 例えば、記載例（P69、P71）のＱ欄の行路差を「０(ゼロ)」と表示した場合は、回折減衰値が－５dBとなります。
※　騒音発生源と予測地点、周辺環境との関係が分かるよう、別添図面（下記①～④）に各予測地点を記載してください（『Ⅱ－１　添付図面』参照）。 ① 騒音予測に関する平面図 ② 騒音発生源となる施設・設備の配置図 ③ 騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図 ④ 建物構造の分かる図面 図面には、予測地点の周辺が住居なのか事務所なのかが、わかるよう記載してください。
※　各予測地点の騒音レベルの算出根拠は別添資料とし、算出過程を明示してください。

【平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠】

※　騒音予測地点は、建物の周囲(４方向)からそれぞれ近接した最も騒音の影響を受けやすい地点に立地している、又は立地可能な住居等の屋外（原則として相手方の敷地の境界線）とし、Ａ地点、Ｂ地点、Ｃ地点、Ｄ地点等と表記してください（敷地の一辺が５０m以上ある場合等、敷地の形状によっては適宜予測地点を追加してください）。
※　「用途地域（略称）」欄には、例えば「一低」「二中高」「一住居」「近商」「準工」のように記載してください。
※　記載例（P69）の(2)変動騒音、(3)衝撃騒音のＧ欄Ｈ欄の「発生回数・継続時間」、「発生回数」欄は、回数、秒数、台数に分けて記載してください。

【夜間において大規模小売店舗の施設運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠】

※　騒音予測地点は、隣接する住居等への影響を考慮した高さにおける店舗の敷地境界線とし、ａ地点、ｂ地点、ｃ地点、ｄ地点等と表記してください（敷地の一辺が５０m以上ある場合等、敷地の形状によっては適宜予測地点を追加してください）。
※　夜間最大値が基準を超える場合は保全対象建物での壁面予測も行ってください。
※　「騒音レベルの最大値の合成」欄には、予測地点ごとに、衝撃騒音のうち予測地点における最大値（１つ）と定常及び変動騒音のすべてを合成した値を記載してください。ただし、自動車走行音は自動車騒音が最大となる地点を予測地点につき１ヶ所選定してください。
※　予測地点を敷地の境界線に設定するときは、自動車走行動線から１m程度離れた所にしてください。
※　騒音規制法上の区域が２段階以上異なる区域が接している場合、基準の厳しい区域の周囲３０m以内の範囲は「第１、第２、及び第３特別地域」に区分されます。 （例：第１種区域（第１種低層住居専用地域等）と第３種区域（近隣商業地域等)が接している場合、第１種区域の周囲３０m以内の範囲の地域は、第２種区域（第１特別地域)となる。）
※　第２種、第３種及び第４種区域の区域内に所在する学校、保育所、病院、診療所（患者の収容施設を有するものに限る。）、図書館、特別養護老人ホーム、幼保連携型認定こども園の敷地境界５０m以内（第１及び第２特別地域を除く。）における規制基準は当該値から５デシベルを減じた値になります。 　また、その場合は、語頭に★印を記載してください。

（5） 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算定根拠　－記載例－

等価騒音レベル　予測地点　○

予測地点の高さ(m)　0.0
予測地点におけるGLと地表面の差(m)　0.0

(1) 定常騒音

A	B	C		D		E	G	H	J		K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
一連No.	識別記号番号	騒音発生源		発生源の位置（階層、方角）	発生源高さ(m)	使用用途	発生時間 Ti（時間）		稼動率		音響パワーレベル L_{WA}(dB)	基準距離騒音レベル L_{pA}(dB)	卓越周波数(Hz)	根拠（手引き）（カタログ）（実測値）	直達距離(m)	距離減衰(dB)	行路差 δ_1(m)	回折点1による減衰 $\Delta L_{d,1}$(dB)	行路差 δ_2(m)	回折点2による減衰 $\Delta L_{d,2}$(dB)	騒音レベル $L_{pA,i}$(dB)	等価騒音レベル $L_{Aeq,i}$(dB)	
		(給排気口については、ダクト奥のファン等の型式番号、根拠資料ページを記載)	給排気口のダクト奥のファン等の基準距離騒音レベル L_{pA}(dB)				昼間（6～22時）	夜間（22～6時）	昼間 Ti/16	夜間 Ti/8												昼間	夜間
		冷却塔																					
		室外機																					
		給排気口(○○○○,p.○)																					
		給排気口(○○○○,p.○)																					
																					定常騒音の合成騒音レベル(dB)		

(2) 変動騒音

A	B	C		D		E	G	H	J		K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
一連No.	識別記号番号	騒音発生源	条　件	発生源の位置（階層、方角）	発生源高さ(m)		発生回数・継続時間 Ti（秒）		延べ稼動率		音響パワーレベル L_{WA}(dB)	基準距離騒音レベル L_{pA}(dB)	卓越周波数(Hz)	根拠（手引き）（カタログ）（実測値）	直達距離(m)	距離減衰(dB)	行路差 δ_1(m)	回折点1による減衰 $\Delta L_{d,1}$(dB)	行路差 δ_2(m)	回折点2による減衰 $\Delta L_{d,2}$(dB)	騒音レベル $L_{pA,i}$(dB)	等価騒音レベル $L_{Aeq,i}$(dB)	
							昼間（6～22時）	夜間（22～6時）	昼間 Ti/57600	夜間 Ti/28800												昼間	夜間
							回・台 × 秒数	回・台 × 秒数															
		来店自動車走行	20km/h定常走行				×	×			82.0	74.0		手引き									
		荷さばき車両走行	大型車				×	×			101.0	93.0		ASJ2003									
		荷さばき後進ブザー					×	×				90.0	2000	手引き									
		廃棄物収集作業	廃棄物非圧縮時				×	×				85.0	1000	手引き									
		廃棄物収集作業	廃棄物圧縮時				×	×				90.0	1000	手引き									
		BGM等					×	×															
		荷さばき台車走行音	平坦路走行時				×	×				71.0	2000	手引き									
																					変動騒音の合成騒音レベル(dB)		

※ 基準距離騒音レベル L_{pA}は、音響パワーレベルＬｗA－8(ｄB)の値を記載しています。

※ 来店自動車走行騒音の音響パワーレベルの値は、ＡＳＪ RTN-Model2003のパワーレベル計算式又は自動車工学に基づくパワーレベル式により算出してください。　（ 騒音予測の手引き（第2版）参照）
※ 来店自動車走行、荷さばき車両走行の「L欄：基準距離騒音レベルＬpA」は、音響パワーレベルＬｗA－8(ｄB)の値を記載し、その旨のコメントを記載してください。

(3) 衝撃騒音

A	B	C		D		E	G	H	J		K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W
一連No.	識別記号番号	騒音発生源	条　件	発生源の位置（階層、方角）	発生源高さ(m)		発生回数 Ni					基準距離単発騒音暴露レベル L_{AE}(dB)	卓越周波数(Hz)	根拠（手引き）（カタログ）（実測値）	直達距離(m)	距離減衰(dB)	行路差 δ_1(m)	回折点1による減衰 $\Delta L_{d,1}$(dB)	行路差 δ_2(m)	回折点2による減衰 $\Delta L_{d,2}$(dB)	単発騒音暴露レベル $L_{AE,i}$(dB)	等価騒音レベル $L_{Aeq,i}$(dB)	
							昼間（6～22時）	夜間（22～6時）	昼間 Ni/57600	夜間 Ni/28800												昼間	夜間
							回数 × 台数	回数 × 台数															
		荷さばき荷下ろし音	ﾘﾌﾄ･床面等衝撃音				×	×				85.6	1000	手引き									
		荷さばき荷下ろし音	リフト昇降音				×	×				86.1	1000	手引き									
		荷さばき台車走行音	段差越(積載なし)				×	×				83.0	4000	手引き									
		荷さばき台車走行音	段差越(90kg積載)				×	×				74.0	4000	手引き									
		来店自動車のドア開閉音					×	×				87.2	500	手引き									
		荷さばき車両のドア開閉音					×	×				87.2	500	手引き									
																					衝撃騒音の合成騒音レベル　(dB)		
																					予測地点での等価騒音レベル(dB)		
																					環境基準値(dB)		
																					環境基準上の地域類型 <AA,A,B,C>		
																					用途地域		

※ 該当なしの項目は0(ゼロ)表示せず、空欄又はハイフンで表示してください。0(ゼロ)表示は、エネルギーが存在するため合成計算が必要となります。
※ Q欄の行路差の0(ゼロ)表示は回折減衰値が－5dBとなります。

夜間の騒音レベルの最大値　予測地点　○

（6） 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠

ー記載例ー

新設変更後	
最早開店時刻	最遅閉店時刻

予測地点の高さ(m)　0.0
予測地点におけるGLと地表面の差(m)　0.0

(1) 定常騒音

A	B	C		D		E	F		I	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	X
一連No.	識別記号番号	騒音発生源		発生源の位置(階層、方角)	発生源	使用用途	新設変更後 発生時間帯		発生時間　Ti (時間)	音響パワーレベル L_{WA} (dB)	基準距離騒音レベル L_{pA} (dB)	卓越周波数 (Hz)	根拠 (手引き) (カタログ) (実測値)	直達距離 (m)	距離減衰 (dB)	行路差 δ_1 (m)	回折点1による減衰 $\Delta L_{d,1}$ (dB)	行路差 δ_2 (m)	回折点2による減衰 $\Delta L_{d,2}$ (dB)	騒音レベル $L_{pA,i}$ (dB)
		(給排気口については、ダクト奥のファン等の型式番号、根拠資料ページを記載)	給排気口のダクト奥のファン等の基準距離騒音レベル L_{pA}(dB)		高さ (m)		から	まで	夜間 (23～6時)											
		冷却塔					○:○	○:○												
		室外機																		
		給排気口(○○○○,p.○)																		
		給排気口(○○○○,p.○)																		
															定常騒音の合成騒音レベル(dB)					

(2) 変動騒音

A	B	C		D		E	F	I	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	X
一連No.	識別記号番号	騒音発生源	条　件	発生源の位置(階層、方角)	発生源 高さ (m)			発生回数・継続時間　Ti (秒)	音響パワーレベル L_{wA} (dB)	基準距離騒音レベルの最大値 L_{Amax} (dB)	卓越周波数 (Hz)	根拠 (手引き) (カタログ) (実測値)	直達距離 (m)	距離減衰 (dB)	行路差 δ_1 (m)	回折点1による減衰 $\Delta L_{d,1}$ (dB)	行路差 δ_2 (m)	回折点2による減衰 $\Delta L_{d,2}$ (dB)	騒音レベルの最大値 $L_{A,Fmax}$ (dB)
								夜間 (23～6時) 回・台 × 秒数											
		来店自動車走行	20km/h定常走行					×	82.0	74.0		手引き							
		荷さばき車両走行	大型車					×	101.0	93.0		ASJ2003							
		荷さばき後進ブザー						×		100.0	2000	手引き							
		廃棄物収集作業	廃棄物非圧縮時					×		90.0	1000	手引き							
		廃棄物収集作業	廃棄物圧縮時					×		95.0	1000	手引き							
		BGM等						×											
		荷さばき台車走行音	平坦路走行時					×		77.0	2000	手引き							
															変動騒音の合成騒音レベル(dB)				

※ 基準距離騒音レベルの最大値ＬAmaxは、音響パワーレベルＬwA－8(ｄB)の値を記載しています。

※　来店自動車走行騒音の音響パワーレベルの値は、ＡＳＪ RTN-Model2003のパワーレベル計算式又は自動車工学に基づくパワーレベル式により算出してください。　（ 騒音予測の手引き（第２版）参照）
※　来店自動車走行、荷さばき車両走行の「L欄：基準距離騒音レベルの最大値ＬAmax」は、音響パワーレベルＬwA－8(ｄB)の値を記載し、その旨のコメントを記載してください。

(3) 衝撃騒音

A	B	C		D		E	F	I	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	X
一連No.	識別記号番号	騒音発生源	条　件	発生源の位置(階層、方角)	発生源 高さ (m)			発生回数 夜間 (23～6時) 回数 × 台数		基準距離騒音レベルの最大値 L_{Amax} (dB)	卓越周波数 (Hz)	根拠 (手引き) (カタログ) (実測値)	直達距離 (m)	距離減衰 (dB)	行路差 δ_1 (m)	回折点1による減衰 $\Delta L_{d,1}$ (dB)	行路差 δ_2 (m)	回折点2による減衰 $\Delta L_{d,2}$ (dB)	騒音レベルの最大値 $L_{A,Fmax}$ (dB)
		荷さばき荷下ろし音	ﾘﾌﾄ･床面等衝撃音					×		90.0	1000	手引き		0					
		荷さばき荷下ろし音	リフト昇降音					×		85.5	1000	手引き							
		荷さばき台車走行音	段差越(積載なし)					×		90.0	4000	手引き							
		荷さばき台車走行音	段差越(90kg積載)					×		82.0	4000	手引き							
		来店自動車のドア開閉音						×		91.6	500	手引き							
		荷さばき車両のドア開閉音						×		91.6	500	手引き							

衝撃騒音のうち、最大のもの（1つ）　(dB)	
騒音レベルの最大値の合成(dB)	
規制基準値(dB)	
騒音規制法上の区域の類型 <第1,2,3,4種>	
環境確保条例の該当地域(★印…学校等近傍)	

※　該当なしの項目は０(ゼロ)表示せず、空欄又はハイフンで表示してください。０(ゼロ)表示は、エネルギーが存在するため合成計算が必要となります。
※　Ｑ欄の行路差の０(ゼロ)表示は回折減衰値が－５dBとなります。